2015年9月21日 祝敬老の日

その笑顔がまちの元気!!

9月の第3月曜日は、「敬老の日」です。

多年にわたり、社会のために尽力された高齢者の方々に心から感謝の意を表し、長寿をお祝い申し上げます。

先日、厚生労働省が発表した平成26年の日本人の平均寿命は、女性は86.83歳で世界第1位、男性は80.50歳で世界第3位でした。本市における100歳以上の高齢者数も緩やかに伸びています。

【問合先】＝本庁高齢・介護福祉課高齢者福祉グループ　TEL(23) 5111（内線2674）

角　ユミ（105歳）【里】村西

施設に入所し、家族や地域の方々に見守られながら穏やかに生活しています。

山下　フテ（104歳）【川内】和光園

家族との面会を楽しみにしており、面会時には自然と笑みがこぼれてきます。

里薗　イカ（104歳）【川内】前薗

施設に入所しています。家族と面会する時間が何より楽しみです。

江口　マツヨ（104歳）【里】薗中

天気の良い日は親子3人で、近くの海岸へ散歩に出掛けたりして、楽しく過ごしています。

一〇四歳

家村　ミス【川内】隈之城
野元　サエ【川内】風口
栫　シナヲ【川内】上大迫
萩原　ミツエ【入来】博愛園

一〇三歳

萩原　トヨ【祁答院】上方限
村上　ノキ【川内】白寿園
森園　トキ【川内】飯母
十島　重義【川内】椎原
濵田　ミチ【川内】草道上
髙橋　博【川内】開聞東
上野　榮恵【川内】上代
中村　サダ子【樋脇】樋掛
慶田　シヅ【川内】木場谷
平野　カワエ【鹿島】鹿島園
髙崎　ヒデ子【樋脇】上杉馬場
毎床　義徳【入来】長野下
村野　カヨコ【川内】永野段
芹ケ野　マツエ【川内】尾白江
冨永　トシエ【東郷】五社下
家村　七蔵【川内】碇山
山下　クサヲ【入来】博愛園
橋口　アキノ【里】村東
松元　フヂエ【川内】長崎
永山　政子【川内】喜入
前園　トミ【川内】峰下
山元　アキ【川内】今村住宅
中村　ハル【川内】船間島
津之浦ハルキク【川内】和光園
田原　鈴【川内】今寺

一〇二歳

森尾　トヨノ【上甑】山口（特老）
野島　ハル【里】村西
宮田　フミエ【川内】野間島
内野　文【川内】御陵下一丁目
笹本　キミ子【東郷】司野上
小西　アキ【川内】和光園
鈴木　ヨシノ【川内】上川内駅通り
天辰　國丸【川内】宮内麓
下麥　つや子【入来】芝町
米増　登【祁答院】馬頃尾
湯丸　ミキ【祁答院】滝聞
黒瀬　ミキヱ【樋脇】指月苑
西村　ミチエ【川内】小田
川畑　ツルエ【樋脇】翠泉苑
山下　ナミ【川内】青山
濵崎　ヨシ【樋脇】指月苑
山野　キクノ【東郷】司野上
米丸　ミナ【川内】戸田
山下　戸一【川内】国分寺
小牧　サカ【川内】鶴峯
市來　トミエ【祁答院】中福良（上手地区）
市　ミカ【東郷】とうごう苑
山東　スミヱ【川内】都
乙須　シヅ【川内】川底上
下園　大四子【川内】前尚（寄田地区）
髙崎　アカシ【祁答院】滝聞
上池　イク【樋脇】指月苑
森山　ミエ【川内】勝目前
髙江　ヒサ【祁答院】川西
野島　正一【里】村西
福山　シヅノ【川内】尾賀
吉川　淺治【川内】尾賀

一〇一歳

児浦　チワ【川内】隈之城
瀬下　薫【入来】松清園
星原　クラ【川内】鶴峯
南　八重【下甑】堂尚
白石　武七【上甑】山口（特老）
小倉　博子【川内】喜入
竹山　ケイ【川内】和光園
重永　妙子【入来】小路（清色地区）
北山　スエ【樋脇】指月苑
濵島　キヨ【祁答院】下手中
西原　ケサマツ【樋脇】田間田
中原　アキ【川内】大明神
大西　キクヱ【川内】若宮
乙須　厚【川内】川底下
福重　フサ【川内】隈之城
石原　さめ【里】薗下
永留　スミヱ【川内】大平（川内地区）
北村　スミヱ【祁答院】大村町
窪薗　ミチ【川内】泰平
岩下　テルヱ【樋脇】岩下（樋脇地区）
末弘　幸春【入来】山下
青崎　シヅ【川内】江口（峰山地区）
坂元　キミヱ【川内】若草二・三丁目
中村　ムツ【川内】宮下

一〇〇歳

福元　タエ子【川内】上手（永利地区）
鎌田　セツ【祁答院】中原
田畑　マツ【川内】下大迫

＊同意をいただいた方の氏名・地域・自治会などを掲載（敬称略）

＊平成27年9月1日を基準日とし、平成27年8月21日現在、生年月日順で掲載

9月10日は下水道の日

「忘れない　暮らしの下に　下水道」

（平成27年度下水道推進標語）

【問合先】＝水道局下水道課　TEL(42) 2330

下水道推進マスコットキャラクタースイスイ

「水のまち」としての誇り

本市のシンボルである川内川では、水辺空間を利用し、川内川花火大会や川内レガッタなどが開催されています。

また、美しい護岸が整備され、市民の憩いの場としても親しまれています。

近年、川内川本流の水質は改善されてきました。しかし、春田川や隈之城川などの支流河川には、依然として生活雑排水が流れ込んでおり、水質の改善が図られていない状況です。

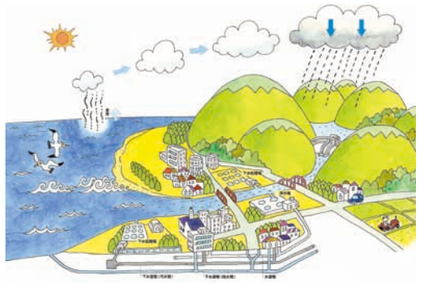
▲「水のまち」としての誇りを持てるまちづくりのために、下水道は欠かせない施設です。

水の循環

私たちが利用している水の多くは、河川から取水し、浄水場で浄化して、水道管から各家庭に送られます。

さらに、下水道が整備されている地域では、使用した水は下水道管で集められ、浄化センターできれいな水に戻して河川に放流されます。

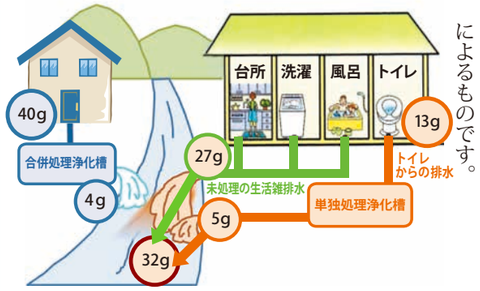
その水は海に流れ込み、水蒸気となって雲を形成し、再び河川の上流に雨を降らせ、河川水として返ってきます。これを**水の循環**と呼んでいます。



▲私たちの生活は、水の循環のもとで営まれています。生活雑排水を適切に処理することで、健全な水の循環を未来に引き継いでいきましょう。

川を汚している原因は

1人が1日に使った排水の中に含まれる汚れの量は、約40g（BOD負荷量）です。このうち27gは、台所・洗濯・風呂などから流される、いわゆる生活雑排水によるものです。



▲単独処理浄化槽や汲み取りトイレを使用されている場合、生活雑排水は未処理のまま近くの側溝や川に流されます。これが、河川の水質悪化の主な原因となっています。

下水道処理区域にお住まいの方は下水道に接続しましょう

本市では、市街地を対象に公共下水道を整備しています。

しかし、下水道への接続を行わなければ、これまでどおり生活雑排水は処理されないまま側溝や河川に流され、本来の目的である水質保全や生活環境の改善にはつながりません。

生活の中で使用した水をきれいな状態で自然に戻すのも、私たちの大切な務めです。

まだ下水道に接続されていない方は、1日も早い接続をお願いします。地域ぐるみで下水道への接続を促進し、本市が「水のまち」としての誇りを持てる環境を、次の世代に残しましょう。

排水設備の接続は指定工事店へ

下水道に接続するための「排水設備工事」は、必ず本市指定の排水設備指定工事店へ依頼してください。

＊詳しくは、お問い合わせください。

下水道に接続するには

①排水設備指定工事店から見積書を取りましょう。

②指定工事店が決まったら、申請手続きは工事店が代行して行います。

③排水設備工事を実施します。

④工事が完了後、市で検査を行い、検査済証が交付された後、使用が可能になります。